### 令和3年度 社会福祉法人くすの木福祉事業会 事業報告

評議員会・理事会開催状況

開催年月日	参加者数(監	事含)/議案数	審議内容
	評議員会	理事会	田成11七
令和3年5月25日 (決議があったと みなされた日)		(書面決議) 6件	・令和2年度事業報告について ・令和2年度社会福祉事業区分会計決算の認定について ・評議員候補者の選任について ・理事候補者及び監事候補者の選任について ・評議員選任・解任委員の選任について ・定時評議員会の開催について
令和3年6月10日	9名 2件		・理事及び監事の選任について ・令和2年度社会福祉事業区分会計決算の承認について
13410-07110 1		8名 1件	・理事長及び常務理事の選任について
令和3年11月10日		8名 1件	<ul><li>・令和3年度社会福祉事業区分会計補正予算について</li></ul>
令和3年12月1日		8名 1件	・県有財産の売却に係る一般競争入札の参加について
令和3年12月27日		8名 2件	・県有財産売買契約の締結について ・令和3年度社会福祉事業区分会計補正予算について
令和4年3月18日		8名 9件	・職員給与規程の一部改正について ・虐待防止対応規程の一部改正について ・経理規程の一部改正について ・サポートくすの木の給食業務委託契約について ・役員賠償責任保険契約の更改について ・令和4年度社会福祉法人くすの木福祉事業会事業計画について ・令和4年度社会福祉事業区分会計予算について ・令和3年度社会福祉事業区分会計補正予算について ・施設長の選任について

#### その他の実施状況

#### ●諸規程検討

- ・法人諸規程検討及び労務相談(月1回開催 大山社会保険労務士来寮)
- ・虐待防止対応規程の検討(身体拘束適正化義務化への対応)
- ・職員給与規程の検討(新たな加算に基づく処遇改善手当の改正)
- ・専門家による経営分析の実施

#### ●職員研修

・虐待防止研修 ※2回のうち1回はコロナにより中止 強度行動障がい状態の方の特性と基礎知識、支援方法

: 豊田市福祉事業団 障がい者総合支援センター第二ひまわり 倉嶋昌之氏

• 役職者研修

感染症対策研修会 : たつき福祉会 額田の村 今泉頼和氏

- ・AED及び心肺蘇生法講習 : 日赤愛知支部 村崎正明指導員 ※2回のうち1回はコロナによ
- ・法人職員研修:防犯研修、感染症対策講習 ※コロナにより中止

- ●感染症対策委員会 随時実施
- ●法人災害対策委員会
  - ・災害対策本部及び福祉避難所設置訓練の実施
- ●地域公益取組推進委員会
  - ・地域座談会への参加
  - ・児童クラブへのおやつ提供の実施
  - ・蒲郡市教育委員会生涯学習課ワークショップへの参加
- ●法人職員採用試験実施(6回)
- ●評議員選任・解任委員会の開催

## 令和3年度 障害者支援施設つつじ寮事業報告

## 1. 職員構成

総数 50名 ()は非常勤再掲

施設長	1	事務員	2(1)	サビ管	1	生活支援員 35(15)
看護師	2(1)	栄養士	1	調理員	7 (7)	嘱託医 1(1)

## 2. 利用者の状況

定員 50名

### ●療育手帳判定

	A判定	B判定	C判定	計
男	25	0	0	25
女	19	5	0	24
計	44	5	0	49

### ●障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	<b>∄</b> †
男	0	0	0	3	10	12	25
女	0	0	0	5	6	13	24
計	0	0	0	8	16	25	49

### ●在籍および入退所状況

施設入所者 令和4年3月31日現在49名 退所者 1名 入所者 0名

## 3. 支援状况

引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を実施しながらの1年であった。

具体的な支援については、昨年度に引き続き、高齢・重度化に対応するべく、利用者 1.7人に対して1人の職員を配置して、マンパワーによる利用者支援の充実を図ってき た。また、この1年は障害支援区分の認定調査などが多く、新しい職員も利用者の現状 を客観的に把握することを通して、アセスメントなどの重要性について理解することが できた。日中活動支援については、個々人の能力や適性、年齢に合わせ、生産活動を行 う「下請け作業班」と高齢、重度の方に対して身体機能維持活動を行う「ひまわり班」 の2班で活動を実施した。

それぞれの利用者の想い(ニーズ)に寄り添い、本人が楽しみながら、生きがいのある生活が送れるよう個別支援計画を立て、目標が達成できるように以下の支援を行った。

### (1) 生活支援

生活面では、食事・排泄・入浴等必要不可欠な支援について個別の支援ガイドを作成 し、利用者本人の状態に合わせた支援を行った。

### (2) 日中活動支援

<下請け作業班> 班員 21 名 (男性 12 名・女性 9 名)

### 支援状況及び報告

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく出て、わくわくワーク大塚の仕事の受注が少なく実績が更に減少している。また、Fバーナーの受注も大きな変化はなく、低受注のままだった。そのため、年間の利用者へのボーナス支給を見合わせている。

作業に関しては、個々の利用者の能力に合わせて作業工程を工夫し、どの利用者も 作業に参加できるように努めた。

作業を頑張ったことで、利用者も給料を受け取ることを楽しみにしている。給料日の日は作業に実が入る利用者が多く、新型コロナウイルス感染症防止のため職員が購入したお菓子をみんなで食べるなど、給料と美味しいものが食べられるということが結びついており、働く意欲につながっている。

作業が落ち着いている日には、利用者と一緒に施設の周りやドライブ先で散歩したり、ひまわり班と一緒に運動を行うなど、体力の維持に努めた。

## <ひまわり班> 班員 28 名 (男性 13 名 女性 15 名)

### 支援状況及び報告

ひまわり班は、基本的にアクティブ、ヘルス、ケアの3グループに分け、円滑な活動ができるようにしているが、更に利用者一人ひとりのニーズに寄り添えるよう、本年度は3つのグループに拘ることなく、利用者の適性に沿った支援が行えるようグループの垣根を越えて柔軟に活動を進めた。具体的には、歩行速度に合わせた散歩のグループ分けや、利用者に合ったコースを選ぶこと、ドライブ散歩、寮内歩行、運動場歩行などを行った。

昨年度に引き続き、その日の活動を仕切る職員のリーダーを決めて、特定職員だけで活動を進めることによる活動内容の偏りを防ぎ、正職員に責任を持たせ、その効果が出た。

活動については、今年度はドライブを兼ねて外に出て、現地で散歩という形をとる ことも増えたことで、体力維持を目標に散歩を中心に実施し、年間を通して体を動か すことができた。

### (3) 自立支援

1) 生活支援・・・金銭感覚取得、身辺の自立

地元の美容院に出かけ、金銭使用に慣れたり、外出する中でマナーを学ぶ等、各自のスキルアップへの取組みを実施した。

買い物や洗濯など個々に合わせた個別支援計画を作成し、生活する上で自立に必要な支援を行った。

2) 地域生活、就労に向けた支援…今年度は、コロナウィルス感染防止対策のため、 グループホーム入居に向けての支援はできなかった。

### (4) 余暇活動

コロナウイルス感染症感染防止対策と並行しながら、生活に潤いを持たせ、ストレスの解消を図るため休日や平日の自由時間を有意義に過ごせるようにした。具体例として 夕食後の余暇活動で、塗り絵、カラオケ、軽運動など充実した活動を毎日実施した。

また、月1回土曜日の午前中に講師を招いた生け花教室、休日の午前に「コーヒータ イム」を実施した。

### (5) TAP 活動

セラピー活動(音楽療法・読み聞かせ)、アート活動(絵画教室・木工教室)を毎月実施した。但し、コロナ禍で中止の期間もあった。(読み聞かせ・木工教室については隔月実施)絵画教室は講師の丁寧な指導により1つの作品に時間をかけて取り組む利用者や、個々の特性を生かした絵を描き完成させている。完成した作品は絵画展等に出品している。

どの活動も個々の利用者の希望を尊重し、日々の生活の中で楽しみや生き甲斐の持てる充実した活動となり、参加利用者は毎回意欲的で笑顔に満ちていた。

今後も活動を継続して行き、利用者にとって生活の中での楽しみになるような活動を 行っていく。

## 4. 健康管理

年2回保健・給食委員会を開き、それぞれの課題解決や充実を図ると共に健康維持に 努めた。新型コロナウィルス感染症の対策として感染症対策委員会を計2回開催し、感 染防止対策を行った。

### (1) 定期健康診断(5/24、10/18)

聴打診、血圧測定、尿検査、血液検査、検便、胸部レントゲン(春)、腹囲測定(春)、 心電図(秋)、大腸がん検査(秋)

(2) 乳ガン検診(7・10月) 子宮ガン検診(10月)

### (3) 通院状況

定期通院については、内科、歯科、眼科、外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、精神科、婦人科の通院を行った。また、歯科については蒲郡市障がい者歯科診療所の通院を行い、治療の難しい利用者が利用した。また季節的に、水虫、感冒、花粉症による通院を行った。

### (4) 入院状況(延人数)

15 日未満内科 6 名15 日以上 1 ヶ月未満内科 1 名

1ヶ月以上3ヶ月未満 内科2名 精神科2名

### (5) 寮内処置状況

(水 虫 対 策) 皮膚科に通院し、処方された外用薬を塗る治療を行った。また常に 足を清潔にするように支援を行った。

(怪我の処置) 擦り傷、切り傷、軽い外傷。

(感染症対策) 日ごろの予防として、手洗い、うがい他、体力作りに心がけた。

毎日の体温測定(1日2回測定)を行い、早期発見に努めた。薬剤を使用した寮内消毒及び清掃を念入りに行った。

インフルエンザワクチン接種については、11月実施。

1月から3月の感染症流行期には予防として外出時にはマスク着用、また面会を控える対応を行った。

昨年に引き続き、コロナ禍ということで、緊急事態宣言等が発令中の時は、入所者罹患防止のため、短期入所、日中一時支援の受け入れを休止した。また、新型コロナウィルス感染症防止のため、外出等の自粛を行った。

## 5.食事

必要な栄養素・栄養バランスの摂れた献立を作成し、旬の食材を多く使用した食

事を提供した。嗜好調査や、毎月の集会でリクエストの聞き取りを行い、献立に取り入れた。毎週木曜日には主菜を2種類用意する選択メニューを実施し、選択する自由を尊重した。また季節の行事に合わせた食事を提供し、食事をより楽しんでもらえるように努めた。

健康管理上の配慮が必要な方は、栄養士、調理員、看護師、支援員が協議して、 以下の様に対応した。

・肥満者・・・・・・・肥満食、極肥満食

・低体重者・・・・・・主菜、副菜1.5倍食

・咀嚼能力の低い者・・・きざみ食

・嚥下能力の低い者・・・とろみ付け、ミキサー食

・血圧の高い者・・・・・塩分を控える(汁物半量、漬物なし等)

## 6. 行事

コロナ禍の中、多くの行事を感染防止の為中止した。

5月 春期家庭療育 中止 5月24日 春の定期健診 6月 ふれあい旅行(日帰り) 中止 8月 夏期家庭療育 中止 8月20日 夏まつり2021inつつじ寮 ふれあい旅行(一泊) 中止 9月 9月22日 あしあとの会 10月18日 秋の定期健診 第29回地域交流くすの木福祉まつり 中止 11月 もちつき会(大塚保育園児受け入れ 中止) 12月20日 12月23日 クリスマス会・蒲郡市歳末慰問 12月 冬期家庭療育 中止

節分豆まき 中止

## 7. 職員研修

2月 2日

利用者に対し心理的、身体的、社会的自立と安定した日常生活を援助するためには、 現在かかえる利用者の高齢化や重度化等、サービスを提供する上で、必要な知識及び 技術を専門的に学習する必要がある。そのため年間を通し以下のように行った。

#### (1) 施設内研修

コロナ禍のため、法人として企画はしたものの、実施できたのは、救急救命講習

(AED)、障害者虐待防止研修、感染症対策研修(コロナウイルス感染症)を行う。 しかし、職員会議等で折に触れて、説明等をしてきた。

(2) 施設外研修(愛知県社会福祉協議会、知的障害者福祉協会等主催研修)

初任者、中堅職員研修で、職員のスキルアップを図り、資質、知識向上に繋がった。 また、昨年コロナ禍のため受講できなかった、強度行動障害の研修も受けることが 出来た。Zoom 研修が増えたのも、今年度の特徴であった。

## 8. 共同生活援助事業のバックアップ

共同生活援助事業所ひめはる・かるみあ・はちまんをバックアップした。各事業所と連携し、各ホームからの要請に応じ、緊急時にはその対応を行った。また入居者が 安心して地域で暮らしていけるよう最大限の協力をした。

### 9. その他

- (1) レクリェーション ・新型コロナウィルス感染予防対策を施し、グループごとに随時 実施。外食を兼ねた買い物、公園散策、道の駅めぐり、演劇鑑 賞、サーカス鑑賞を実施した。
- (2) 防災訓練 ・毎月1回実施
  - ・日中のみならず、職員の少ない夜間を想定し、非常時の対応ができる様に訓練した。10月に法人災害対策本部設置訓練・福祉避難所設置訓練を行った。
- (3) 環境整備 ・毎月1回実施
  - ・寮内整備及び美化に努めた。
- (4) 地域活動 ・ふるさと博推進委員会(地元活動団体)の学習資源整備(年4 回)、トイレ清掃管理(当番月:年3回)に取り組んだ。
- (5) 理髪 ・4月、6月、8月、10月、12月・2月に実施。
- (6) 面会日・保護者会 ・保護者会は4月、7月、12月に実施した。面会は、緊急事 態宣言等の出ていない期間、個別面接で対応した。
- (7) ボランティアの ・繕い物作業等に温かいご支援、ご協力を頂いた。 受入れ
- (8) 苦情解決事業及び ・社会福祉法の規定に基づき、福祉サービスに関する苦情相談 虐待防止 窓口等について啓発すると共に利用者一人ひとりの面談に努 めた。(令和3年度件数 0件)
  - ・虐待防止については年1回、講師を招き研修を行った。また 月1回虐待防止委員会を開催した。

## (令和3年度通報件数 2件)

- (9) 福祉サービス共通評価基準自己点検 ・ 令和3年3月実施。
- (10) 短期入所(宿泊を伴うショートスティ)事業
  - ・令和3年度利用実績 延べ 62名、209日
- (11) 日中一時支援(日帰りショートスティ)事業
  - ・令和3年度利用実績 延べ 56名、173日
- (12) 生活介護 (通所)
- ・令和3年度利用実績 延べ 12名、36日

# 令和3年度 サポートくすの木 事業報告

### 1. 職員構成

職種	員数	常	勤	非常勤	常勤	備考	保有資格
<b>「「「」」</b>	貝剱	専従	兼務	専従	換 算		
管 理 者	1	1			_		
							・社会福祉主事、サービス管理責
サービス管理責任者	1	1			_		任者研修修了、強度行動障害支援
							者養成実践研修修了
生活支援員	1 5	5	1	9	13.3	相談員兼務	社会福祉主事
毛 苯 砾	-1			1	0.8		介護福祉士、強度行動障害支援者
看護師	1			1	0.8		養成基礎研修修了 看護師
医 師	(1)			(1)		嘱託	・医師
事 務 員	1	1					
調理員	3			3			

( )内は兼務

## 2. 利用者の状況

(1) 障害支援区分状況 (R4.3.31現在)

	区分1 区分2		区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	0	0	5	10	16	5	36
女 性	0	0	2	9	1	3	15
計	0	0	7	19	17	8	51

## (2) 月別 利用契約状況 (令和3年度月初〆)

市町村月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲郡市	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
豊川市	23	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
豊橋市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	52	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51	51

## (3) 月別 利用者数状況 (定員55名)

月利用数・率	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1	5 1
利用率 (%) (対利用者数)	94. 0	94. 7	94. 6	92. 0	89. 9	92. 2	94. 5	94. 9	94. 1	93. 6	78. 2	92. 5
1日あたり 平均利用人数	48.0	48.3	48. 2	46. 9	45. 9	47.0	48. 2	48. 4	48.0	47.7	39. 9	47. 2

※ 2月利用率低下については、グループホームにおける新型コロナウイルス陽性者 発生による利用の停止の影響。

### 3. 全体を通して

利用実績は、一日平均は47.2人、対定員数の利用率92.5%。

「with コロナ」と呼ばれる中、ことある毎に手洗いやアルコール消毒を徹底し、マスク着用と活動室内・公用車等の消毒・換気に手を抜く事なく毎日続けた。

保護者や職員への不要不急の外出を控える協力あり、結果1年間、サポートくすの木に おいては、感染症に対して利用者も職員も陽性者はおらず安全・安心を貫けた。

### 4. 生產活動

委託部門においては、新型コロナウイルス蔓延による影響を受け、受注量は大幅に減少 した状態が続いた。"作業の少ない時の対応"については、委託作業以外での作業訓練や 余暇活動のプログラムを充実させ、必ず利用者に活動を提供するように努めた。

運動活動については個別支援計画に沿って、肥満傾向や運動不足等の利用者を中心に午後より元気班活動室の運動器具等(ルームランナーやエアロバイク、乗馬マシーン等)を使用し、体力の向上に努めた。

木工部門においては、新型コロナウィルス感染症の影響でバザーやイベントの延期や中止が相次いだが、感染防止対策に配慮して開催したバザーなどもあり、可能な限り参加した。商品構成については「ステイホーム」を意識しつつ、ウッドプランターやガーデニングシェルフなど、試行錯誤を繰り返しながら嗜好性の高い物をラインナップに加えた。それらを園芸関連商品に特化した常時販売先として園芸店を開拓した。利用者の作業においては個々の性格やスキルを考慮しながら常に「ツートップ体制」を構築できるように努めた。また同じ体勢の作業も多いため、腹筋マシーンを使用しての器具運動や食堂内での歩行運動も引き続き取り組んだ。

菓子部門においては、計画的な製造と販売を年間目標とし、新商品の開発や利用者のスキルアップを図った。新商品の試作品作りでは、今までにはない米粉を使った商品やナッツを入れた商品など色々と試行錯誤し、事業所全体の利用者、職員に何度も試食を繰り返し、意見を参考にしながら新商品完成にこぎつけることが出来た。新商品の一部はホワイトデーでも販売することが出来た。新しい試みとしては、取引企業様からお話を頂き、カタログでの注文販売に初めて挑戦した。生地を作るところから、箱詰め、梱包、宅配の手配まで全てが初めてで戸惑うこともあったが利用者、職員が協力して進めることが出来た。利用者支援に関しては、スキルアップに取り組む時間を設け、利用者が苦手とする作業に職員が一緒に向き合い、回数を重ねることで今まで出来なかったことが出来るようになった。利用者の製品づくりの自信につながり、今後量産が必要になっても対応できる力がついた。

#### 5. 生活介護活動

環境の改善に取り組んだ。一部屋の中で運動と作業が入り混じる環境であった為、利用者が落ち着ける雰囲気ではないと考えられた。その為、パーテーションを設置。これにより、運動をする空間と作業をする空間が明確になり、落ち着いてそれぞれが活動に取り組める環境となった。

作業面においては、委託作業課から一部提供を受け、個別支援計画により、作業の取り 組み目標がある利用者に優先的に提供した。これについては定着した。

運動面においては、コロナウイルス感染症に伴い、運動をする機会の制限や外散歩の自粛(地域への配慮)等による運動不足、年々の高齢化による健康問題において解決を図り、施設サービスの質の向上に繋げる目的で、助成を受け大型のウォーキングマシーンを2台購入した。合計3台になったウォーキングマシーンは、毎日稼働しており、他部署の利用者受け入れも可能とし、順番待ちによる滞りを解消させた。

### 6. 生活・余暇支援

今年度も、新型コロナウイルス感染症対策に心掛け、生活支援、余暇支援を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により日帰り親子旅行をはじめ、法人行事等は中止となったが、事業所内における行事は細心の注意を図り、選択レクリエーション、クリスマス会、節分行事は実施した。また、外出が制限された状況を考慮し、元気班スペースに漫画の本を500冊ほど準備し、憩いの場の整備にも取り組んだ。

個々の努力や周囲の協力により、体調を崩す利用者・職員は発生しておらず、この一年 無事に支援する事が出来た。

### 7. 保健状況

月	実 施 内 容
4	嘱託医医療相談 13名 救急用品・常備薬の整備
5	健康診断
	利用者 (胸部 X—P・採血・検尿・聴打診・B P 測定・腹囲測定・体重・身長)
	職員 (胸部 X—P·採血·検尿·聴打診·BP測定·腹囲測定·体重·身長·聴力·視力·心電図)
	嘱託医医療相談 15名
6	嘱託医医療相談 12名
7	嘱託医医療相談 15名
8	嘱託医医療相談 12名
9	嘱託医医療相談 15名
1 0	嘱託医医療相談 12名
	障害者歯科検診 中止
	健康診断:利用者 (聴打診、検尿、血圧測定)
1 1	インフルエンザ予防接種(利用者:41名 職員:18名)
	嘱託医医療相談 6名
1 2	嘱託医医療相談 14名
	救急法講習会 (CPR/AED、気道異物除去法)
1	嘱託医医療相談 16名
2	嘱託医医療相談 14名
3	嘱託医医療相談 15名

## 8. 環境整備

毎月1回実施

日常の掃除では行き届かない部分や掃除しきれない部分を中心に実施し、施設内の美化に努めた。

新型コロナウイルス感染予防のため、毎日所内(公用車含む)消毒を実施した。

### 9. 日中一時支援

令和3年度利用実績 契約者数 0名

### 10. 苦情解決

社会福祉法第82条の規定及び局長通知「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」により、福祉サービスに関する苦情解決事業を実施した。 (令和3度件数 0件)

### 11. 虐待防止

法人の虐待防止研修へ全職員が参加している。また、各個人が3カ月に1回、自己点検 表を提出し、それぞれが日々の支援の振り返りをする事で、意識の維持・向上を図ってい る。点検表は集計を取り、虐待防止委員会(メンバー:役職者・各課1~2名 開催:3か 月1回)で内容を検討後、結果を全職員に配布している。 (令和3年度件数 0件)

### 12. 職員研修

職員の資質及び専門性の向上、意識改革を図るため、下記の研修会(オンライン研修) や法人内・施設内の虐待防止研修及び法人内救急法研修等に参加した。

- ・障害者虐待防止・権利擁護研修(管理者向け)
- ・権利擁護(成年後見人)セミナー ・苦情解決制度受付担当者研修
- ・サービス管理責任者更新研修 ・ 高齢知的障害者支援研修
- · 強度行動障害支援者養成者(基礎研修)
- ・強度行動障害支援者養成者応用研修(フォローアップ研修)
- 高齢知的障害者支援研修 他
- 法人研修~虐待防止研修、感染症対策研修、AED講習(気道異物除去)

### 13. 防災訓練

令和3年度実施回数 4回

実施内容

地震及び火災による護身・避難並びに通報訓練 津波警報による 避難訓練、消火器訓練等

法人での合同防災訓練については、広域の大規模災害(地震) 発生を想定しての姉妹施設間の伝達訓練、福祉避難所立ち上げ訓練 に参加している。

### 14. 行事実績

別紙1の通り

#### 15. 生產活動実績

別紙2の通り

## 16. その他

新型コロナウイルス応援職員派遣事業

- ·令和3年5月、2日間1名派遣
- ·令和4年2月 1日間1名派遣

(別紙1) 令和3年度 行事実施報告

(川川八 1 )		
月	日	内容
	1	花見(委託課 13 名・若宮公園)
4	2	花見(かふりえ6名・桜トンネル 木工課10名・とよおか湖公園)
	5	花見(委託課 14 名・とよおか湖公園)
5	2 2	定期健診(利用者・職員)
6	2 9 3 0	法人防災訓練(地震~代替・サポートくすの木事業所単位)
	3 U	賞与支給日
0	7	サポートくすの木夏まつり会
8	1 2	利用者夏期休暇 (~15日)
	1	選択レクリエーション(かふりえ5名・プリオ豊川買い物)
	4	選択レクリエーション(委託課6名・東三河ふるさと公園散策)
	5	選択レクリエーション(元気班4名・プリオ豊川買い物)
	6	選択レクリエーション (委託課5名・アピタ蒲郡、竹島)
	8	選択レクリエーション(木工課5名・プリオ豊川買い物)
1 0	1 5	法人防災訓練 (広域地震)
	2 0	選択レクリエーション(委託課6名・西友岡崎店買い物)
	2 1	選択レクリエーション(元気班5名・東三河ふるさと公園散策)
	2 2	選択レクリエーション (木工5名・プリオ豊川買い物)
	2 5	定期健診(利用者)
	2 8	選択レクリエーション (委託課4名・御幸浜パターゴルフ)
1 1	4	選択レクリエーション(委託課5名・クラスポ蒲郡、双太山公園)
1 1	26	定期健診(利用者)
1.0	1 5	賞与支給日
1 2	2 1	クリスマス会(食事は課ごとで摂る)
	2 9	利用者冬期休暇(~1/3)
2	3	節分・豆まき(課ごとで実施)
3	2 5	賞与支給日
		工賃支給
		嘱託医来診(医療相談)
		環境整備
毎	月	
		*コロナ禍の影響で残念ながら多くの行事が中止となってしまい
		ました。

# 令和3年度 わくわくワーク大塚 事業報告

## 1. 職員構成

総数 22名 (内非常勤)

施設長 1	サービス管理責任者 1	-ビス管理責任者 1生活支援員 1 4 (8)(1名看護師兼務)		事務員1
看護師1(江	1)(生活支援員兼務)	調理員2(2)	運転手	嘱託医1(1)

## 2. 利用者の状況

## (1) 月別利用契約者状況

市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲 郡 市	44	44	44	44	44	45	45	45	45	45	45	46
豊川市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
安城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設楽町			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
知多市					1	1	1	1	1	1	1	
計	46	46	47	47	48	49	49	49	49	49	49	49

## (2) 各種関係手帳所持状況

## ( ) は重複者

種別		療	育手	帳		-	身体區	章害者	<b></b> 手帳		<b>3</b> 1
性別	A級	В級	C 級	なし	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
男	2 3	4	0	0				(1)			2 7
女	1 4	7	0	0	(1)	(1)	1(2)	(1)	(1)		2 2
計	3 7	1 1	0	0	(1)	(1)	1(2)	(2)	(1)		4 9

## (3) 障害支援区分

項目性別	6	5	4	3	2	計
男	3	1 2	1 0	2	0	2 7
女	5	3	9	5	0	2 2
計	8	1 5	1 9	7	0	4 9

## (4) 日常生活自立状况

状況	ほぼ	自立	声かけに	より可能	介助に。	より可能	全分	<b></b>	<b>=</b> 1
領域	男	女	男	女	男	女	男	女	計
食 事	4	8	1 6	6	7	7	0	1	4 9
歯磨き・洗面	4	3	4	7	1 6	1 0	3	2	4 9
排泄 (生理)	7	6	1 7	6(6)	3	8 (8)	0	2(2)	4 9
着 脱 衣	1 1	6	1 2	1 1	4	3	0	2	4 9
掃除(担当箇所)	4	1	1 3	1 6	4	1	6	4	4 9

### (5) 月別利用者数状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
月平均 利用者数	43.4	42.0	42.5	42.2	42.8	44.3	43.5	43.8	43.1	42.7	39.8	42.9

平均月利用者数:42.8

## 3. 日中活動支援

## (1) 自主製品科作業実績

## ①はじめに

今年度は、利用者21名、職員6名(内非常勤職員3名)という体制で引き続きスタートした。作業内容は、菌床しいたけ栽培、委託作業、縫製作業を継続している。

それぞれの部門でより一層の作業の充実を目指して取り組んだ。また利用者一人一人の

作業能力、個々に適応した作業を考え、委託作業科と協調して、一人一人に合った作業を 提供するように心掛けた。

委託作業は受注の減少、縫製作業は新型コロナウイルス蔓延の影響で売り上げが低迷し しいたけ栽培については、収穫量の減少から売り上げが伸びなかった。しいたけ作業、縫 製作業いずれも、昨年度の実績を上回ることはできなかった。

#### 2縫製部門

本年度も昨年度から続く新型コロナウィルスの影響により、バザー等が軒並み中止されまた、昨年度高実績を上げたマスクは既製品の不織布マスクの供給量が増え、安価で手に入る状況になっており、売り上げは大幅に減少した1年であった。

新型コロナウイルスの影響は、マスクの不足によりここ数年、何年も前から布マスクを作成してきた当科に大きく実績を残してくれたが、今年度は商品の主な販売先も限られ苦しい状況であった。商品別ではマスクの売り上げが、昨年度の3,500枚から800枚弱に落ち込んだ。とはいえ、保護者からのコンスタントなマスクの注文依頼もあり、コロナ前のマスクの売り上げよりも、多い数字を上げている。スツールについては若干、昨年度より販売数は伸びており、2日に1個は売れていた状況である。また、三河木綿ブックマークを当事業所の開設30周年の記念品として提供もでき、実績に貢献できた。

各常設店販売別では、テーマパーク内の販売先Bが40.7%、福祉課での販売が16.0%、竹島園地内の販売先Tが1.3%、個人販売が25.0%、ターバン作成が1.2%、バザー他が15.8%となった。

総実績においては昨年度が784,142円であったところ、今年度は400,420円と半分強程度の売り上げとなり、コロナ前の水準程度になってしまった。

最後に、いつもながら、スツール作成において牛乳パックや酒パックを提供してくださるスーパーF様、保護者・職員・関係者の方々、綿の材料をいつでも快く寄付していただける K 反毛工場様に深く感謝しております。

#### ③委託作業

今年度は(株)W様より小学校教材のフェルト裁断作業を請け負い9年目、練習布セットを請け 負い4年目の年であった。練習布セットは、利用者さんの能力に応じて任せられるいい仕事であっ たが、受注は今年度で終了となった。

実績については、委託作業主が親企業より請け負った計画的な受注に沿った数量の実績であり、 昨年度は1,073,512円、今年度は611,559円と461,953円減となった。

その他の作業種として委託作業科で受注している自動車部品の組付けや建築部材の作業等の仕事を協力して利用者に提供することで、利用者の仕事を確保することができた。

#### ④菌床しいたけ栽培

菌床については、昨年度同様に同じ品種を三重県から仕入れた。引き続き搬入回数を2回に減らすことで労力の軽減と経費削減を図っている。雑菌混入を避けるため5月GW明けに菌床の搬入をし、8月の猛暑を乗り越える為、換気や散水などで温室・菌床の温度調整を行った。当初は培養が順調に見えたが、発生時期になると徐々に培養が不十分な菌床に雑菌が付着し腐敗するものが出て

しまい、一日の収穫量が100kgを超える事はなかった。総収穫量としては約2,900kgと昨年度より減少し、実績も60万程減った。

普及啓発の一環という観点からも近隣の老人ホームや保育園などの地元での販売を継続している。"しいたけ直売所"ののぼりを温室前に立て始めて6年目になるが、地域への理解も少しずつ広がり近隣の方、市外の方も多くおとずれてくれた。

コロナ禍で、東三河地域のバザーは軒並み中止になったが、わずかでも開催されたバザーがあれば出向き、販売させていただいた。しいたけの品質といった点でも、「品質の良いしいたけ」と好評をいただくことができた。

### (2) 委託作業科実績

### 1はじめに

委託作業科の体制になり10年目を迎え、利用者27名、職員9名(内非常勤職員5名)という体制で企業の下請け作業を中心に取り組んだ。作業内容は、委託作業全般・製パン・製菓作業ということで、委託作業は5社の業者から作業を受注し行っている。それぞれの業者からの作業の受注状況と利用者の作業能力に応じて、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

#### ②委託作業

委託作業では、5社の業者から自動車関連組み付け作業、部品のセット、プラスチック部品の組み付け作業、建築用部品の作成作業、ダンボールの緩衝材の組み立て、バーナー部品の加工等を行った。昨年度同様に自動車関連の業者からの委託作業は増加傾向にあり、安定した作業量、作業種の確保をすることが出来た。作業内容も簡単なものから高度なものまで様々あり、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することができた。

一方で、住宅関連の業者についてもマンション需要とともに作業量も増加してきており、安定した作業量を確保できるようになってきている。より生産性を高めていくのとともに、質の向上にも努めていくことで受注量の増加、新作業の獲得を目指し取り組んでいる。

### ③製菓部門

令和3年度は利用者5名、職員1名を配置し、作業に取り組んだ。製パン作業は、法人内の食事提供を中心に行う。コロナ禍のため、従来販売していた小学校の先生向けやデイサービスのおやつ、特別養護老人ホームでは販売できず、バザーが少なかった分、保護者や一般の方からの注文販売に力を入れ、安定して作業ができた。製菓ではクッキーの製造を行い、バザーでの販売をしている。今年度は新たに、地域公益事業の1つとして、地域の児童クラブにおやつの提供をした。

利用者、職員共に検便を実施し、作業中には白衣や帽子、マスクを必ず着用、手洗いの徹底など 衛生面にも十分な配慮をして作業に取り組んでいる。材料の計量から生地に照りをつけるための卵 塗り、生地並べや焼成後の包装作業などを行う中で1つ1つ丁寧に取り組み、自信を持って提供で きる製品作りを心がけている。

### 4. 日常社会生活支援·健康管理支援

### (1) 日常社会生活支援

#### 《手洗り》

インフルエンザやノロウイルス、新型コロナウィルス等感染症予防の一環として、令和2年度より玄関に手動アルコール消毒器に加えて自動アルコール消毒器を導入し、登所時の手指消毒を継続実施している。手洗いについても、ここ数年で自動水栓・自動石鹸・ジェットタオル等を整備し、自動アルコール消毒器とともに感染予防に対応している。

基本的な手洗い支援として、お茶休憩時や昼食の手洗い時には職員がついて支援をしている。 支援手順として、「水で洗い流す」⇒「きちんと石鹸液で汚れを落とす」⇒「水で洗い流す」⇒ 「ペーパータオルまたは、綺麗なハンカチ等で拭き取る」あるいは「ジェットタオルで乾かす」 ⇒「消毒液を手指に擦り込む」という基本的な手洗いの一連の流れがスムーズに行う事が出来る よう支援した。毎日の繰り返しで、家庭でも手洗いが上手にできるようになった、という声を聞いている。

#### 《歯磨き・洗面》

昼食後には利用者自らが食堂洗面台で歯磨きを行い、その後当番職員が上手に磨くことが出来ない箇所を磨き直したり、口の周りの清潔を保持している。一日一回の支援ではあるが、家庭での習慣づけの一助になっている。また年一回の歯科健診を実施している。今後も継続する事で少しでも虫歯・歯肉炎予防に役立てたいと考えている。

#### 《体力作り》

毎日、主に午前の時間を使って体力活動を行っている。

介護棟内では、利用者や保護者の要望・目標を取り入れ、それぞれに合った器具を使い活動を 支援した。

ルームランナーや、フィットネスバイク等は速度や傾斜、時間等を変え、それぞれの体力に合わせたかたちで進めている。足温器やイージーウォーク(足首屈伸器具)、エルダックス(上半身運動器具)や肩マッサージ器は、主に筋力維持や血行促進を目的とされる方たちに取り入れている。また、色々なサイズのゴムボールを使う事で、機能維持や体幹強化を進めている。

屋外活動として、好天の日には散歩にも出掛けている。短距離 (約  $1 \, \mathrm{km}$ )、中距離 (約  $2 \, \mathrm{km}$ )、長距離 (約  $3 \, \mathrm{km}$ ) のコースを設け、それぞれの体力に合ったコースで参加してもらい、帰ってからは腹筋やレッグマシーンに励む方も多くいる。猛暑時の散歩は中止とした。

雨天時には、密や換気に気を付けながらリズム体操を行っている。「蒲郡ほほえみ体操」や「豊川市はじまりの体操」ではストレッチ要素を、「ぱぷりか」や「エビカニクス」はアグレッシブ要素を取り入れ、楽しみながら身体を動かしている。

平成23年から体力向上や減量を目的として開始し、現在は体力・体重・健康維持にシフトチェンジされつつあるが、身体を動かす楽しみを感じたり、気分転換を図ったりする事に大いに役立っているよう感じる。

今後も安全と安心を最重視し、利用者・保護者のニーズに応えられるような活動をしていきた いと思っている。

### (2) 健康管理支援

定期健診、年2回実施

身体測定、年3回実施

歯科検診、年1回実施

健康チェック、毎朝、午後の検温実施(1日2回)

給食、健康維持及び生活習慣病防止の献立作成 嗜好調査を3月に実施

## 5. 環境整備・余暇活動

### (1)環境整備

環境整備活動、毎月実施

清掃奉仕、年2回実施、5月・10月(コロナ禍で中止)

衛生対策、玄関、食堂、トイレに消毒液設置

### (2) 余暇活動

土曜タイム、自治会活動、科別リフレッシュタイムの実施

### 6. 日中一時支援事業(別紙1)

### 7. 苦情解決・虐待防止

### (1) 苦情解決

苦情としての受付はなかった。

意見要望等が言いやすい環境作りに努め、速やかに対応できるよう職員会議等で職員に周知した。

### (2) 虐待防止

虐待事案の受付はなかった。

毎月、サービス提供点検を実施し職員会議で検討すると共に、虐待防止の関係する研修に参加し虐待 防止に努めた。

### 8. 令和3年度 作業実績(別紙2)

## 9. 令和3年度 行事実績(別紙3)

## 日中一時支援事業報告

### 1. はじめに

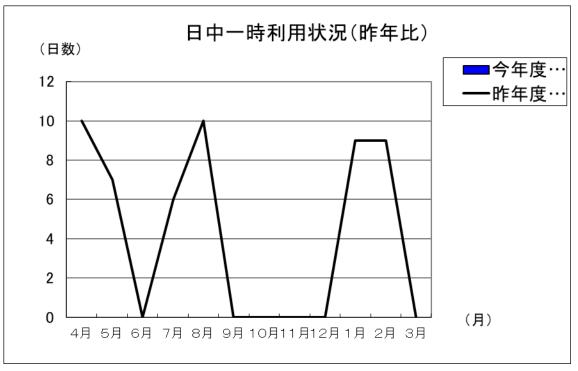
18年10月からスタートした市町村地域生活支援事業の日中一時支援事業〔蒲郡市・豊川市〕は16年目を迎えた。

### 2. 利用状況

契約人数:0名

延べ利用人数:0名

今年度の日中一時の利用はなかった。今後も様々なニーズに応えるべく、取り組んでいきたい。



### 3. 今後について

今後も地域にて生活している障がい者の日中活動の場として作業や体力活動等を通した様々な 支援を行っていければと考えている。

# 令和3年度 行事実績

5 / 24	春の定期健診
3 0	利用者賞与支給
7 / 16	お楽しみランチ(テイクアウト)
8/ 7	ミニ縁日①(盆踊り・かき氷)
1 1	利用者夏期休暇(~15)
28	ミニ縁日②(スイカ割・千本引き)
9/9	ミニ合同レク (パン食い競走)
18	秋の定期健診
2 9	歯科健診
2 9	お楽しみランチ (テイクアウト)
12/15	利用者賞与支給
1 7	忘年会(テイクアウト・カラオケ・ビンゴ大会)
2 1	クリスマス会 (イオン蒲郡店訪問)
2 3	蒲郡市(市長、市議会議長、社会福祉協議会長)年末訪問
28	餅つき・仕事納め
2 9	利用者冬期休暇(~1/3)
1 / 4	仕事始め
2 / 3	節分・豆まき
2 8	リフレッシュタイム(テイクアウトランチ)
3/31	花見 (テイクアウト・創作活動(桜を咲かせよう))
3 1	利用者賞与支給

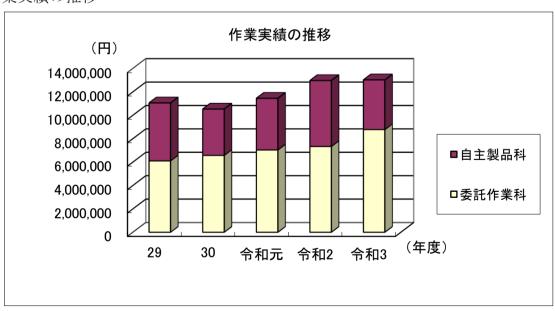
- ※ 毎月1回・・・・・・工賃支給、誕生会、環境整備デー 高血圧者の血圧測定(毎日)
- ※ 偶数月・・・・・・防災訓練
- ※ 4ヶ月毎・・・・・・身体測定

# 令和3年度作業実績

1. 実 績 (単位:円)

/ISA					(1   = 1 4)
	自主製品科	委託作業科	計	経費	工賃
4	156, 960	530, 114	687, 074	122, 188	304, 260
5	239, 784	756, 733	996, 517	50, 439	304, 260
6	232, 865	635, 069	867, 934	223, 685	607, 140
7	60, 597	769, 156	829, 753	1, 500, 485	305, 820
8	74, 466	744, 312	818, 778	139, 340	304, 620
9	72, 358	778, 437	850, 795	406, 994	304, 110
10	176, 054	682, 892	858, 946	155, 699	304, 500
11	640, 020	736, 068	1, 376, 088	289, 313	304, 260
12	877, 572	563, 469	1, 441, 041	1, 166, 743	763, 725
1	664, 190	845, 676	1, 509, 866	628, 801	303, 210
2	500, 874	864, 933	1, 365, 807	353, 084	304, 770
3	413, 485	654, 915	1, 068, 400	598, 852	455, 705
決算見込	137, 987	211, 357	349, 344	682, 853	2, 108, 911
合計	4, 247, 212	8, 773, 131	13, 020, 343	6, 318, 476	6, 675, 291
月平均	353, 934	731, 094	1, 085, 029	526, 540	556, 274

## 2. 作業実績の推移



## ◎ 年度別実績

(単位:円)

	29	30	令和元	令和2	令和3
自主製品科	4, 953, 057	3, 958, 067	4, 415, 805	5, 633, 791	4, 247, 212
委託作業科	6, 096, 727	6, 567, 413	7, 030, 454	7, 328, 708	8, 773, 131
合 計	11, 049, 784	10, 525, 480	11, 446, 259	12, 962, 499	13, 020, 343

### 令和3年度 障害者サポートセンターすてっぷ事業報告

### 1. 概要

令和3年度は更新件数が多く、大変忙しい年度となった。一方で、新型コロナウィルスの 影響で直接お会いしづらい状況があり、1度の機会でなるべく多くの支援をさせていただい た。できるだけ接触する機会を減らして支援を実施したことが実績にも表れている。

また、令和3年度からは正式に蒲郡市自立支援協議会の事例検討部会にかかわることになり、今まで以上に蒲郡市と連携を強くすることとなった。なお、令和3年度も引き続き蒲郡市委託相談支援事業の業務を行っている。

### 2. 相談支援の状況

### 【相談受付数】※()内は令和2年度実績

	実人員	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
人数	123(136)	6(8)	104(114)	6(6)	7(7)	0(1)

### 【支援方法】

	訪問	来所	電話等	個別支 援会議	その他	合計
相談数	432	40	424	48	3	967

### 【支援内容】※( )内は令和2年度実績

	福祉サー	障害や病	健康	不安解消	保育	家庭関係	家計
	ビス利用	状理解	医療	情緒安定	教育	人間関係	経済
件数	913	1	727	302	94	439	110

	生活技術	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	318	97	449	9	88	3565(3720)

#### 【サービス等利用計画およびモニタリング報告書作成数】※( )内は令和2年度実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画数	4	2	4	5	7	11	9	9	5	8	11	8	83(41)
モニタ リング数	17	17	20	16	23	17	15	18	25	13	14	24	219(264)